

平成21年12月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 チムニー株式会社

コード番号 3362 URL <http://www.chimney.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和泉 学

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 山口 実

TEL 03-3626-2341

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第3四半期の業績(平成21年1月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第3四半期	28,803	—	2,072	—	2,181	—	1,182	—
20年12月期第3四半期	28,153	14.5	2,396	23.8	2,429	23.0	1,313	30.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第3四半期	129.92	—
20年12月期第3四半期	144.31	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第3四半期	19,605	10,781	55.0	1,184.74
20年12月期	22,738	9,789	43.1	1,075.81

(参考) 自己資本 21年12月期第3四半期 10,781百万円 20年12月期 9,789百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	9.00	—	11.00	20.00
21年12月期	—	10.00	—	—	—
21年12月期(予想)	—	—	—	0.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年12月期の業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	2.1	2,950	△12.3	3,000	△11.8	1,566	△13.5	172.08

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 有 |
| ② ①以外の変更 | 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年12月期第3四半期	9,100,000株	20年12月期	9,100,000株
② 期末自己株式数	21年12月期第3四半期	—株	20年12月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年12月期第3四半期	9,100,000株	20年12月期第3四半期	9,100,000株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年8月5日に公表した平成21年12月期の業績予想を修正しております。また、期末配当予想額につきましても修正しております。詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報及び平成21年11月6日公表の「平成21年12月期配当予想の修正及び株主優待制度の廃止に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき判断した見通しであります。今後、様々な要因により実際の業績等は、上記数値と異なる場合があります。また、当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間（平成21年1月～9月）における日本経済は、輸出や生産などの指標に一部持ち直しの兆しも見られたものの、企業業績の低下や雇用環境の悪化から先行きが不透明な厳しい状況が続きました。外食業界におきましても、景況感の悪化による消費者の生活防衛意識の高まりや低価格競争に拍車がかかるなど、厳しい経営環境が続いております。

このような中当社は、本年度のテーマとして掲げている、お客様に「ありがとう」といわれるサービスの向上を目指し、「3つのきょういく」（教育：教えて育てる 共育：教えながら共に育つ 強育：強く育てる）の強化を図りながら運営を行ってまいりました。

第3四半期における事業部門別の業績概況は以下のとおりであります。

（1）直営店部門

当第3四半期会計期間（平成21年7月～9月）の直営店部門の新規出店は21店舗（4店舗の減少）、フランチャイズへの建売が5店舗（FC店から直営店への切り替えが4店舗）となりました。これらにより、当第3四半期累計期間（平成21年1月～9月）の直営店の店舗の新規出店数は44店舗、フランチャイズへの建売が26店舗（FC店から直営店への切り替えが11店舗）、第3四半期会計期間末の直営店舗数は248店舗（前期末226店舗、前年同期末214店舗）となりました。

新規出店につきましては、主力業態である「はなの舞」「さかなや道場」に加え、防衛省本省内と旭川赤十字病院内にそれぞれ食事メニューを中心とした店舗の出店、小規模の立ち飲み業態である「一丁目一番地」等の新たな実験展開も開始いたしました。また、直営店事業の強化のために機動事業部を新たに立ち上げ、新規開店店舗の教育体制の充実と、既存店舗のオペレーションやサービス向上を図っております。直営店舗の第3四半期累計期間の既存店売上高前年比は93.3%となっております。

以上の結果等より、当第3四半期累計期間の直営店部門の売上は、23,070百万円（前年同期間は22,946百万円）となりました。

（2）食材供給部門

第3四半期会計期間（平成21年7月～9月）のFC店舗数は、新規出店が0店舗（1店舗の減少）、直営店からの転換が5店舗（FC店から直営店への切り替えが4店舗）あったことにより、当第3四半期累計期間（平成21年1月～9月）のFC店の店舗の新規出店数は4店舗（3店舗の減少）、直営店からの転換が26店舗（FC店から直営店への切り替えが11店舗）、第3四半期会計期間末のFC店舗数は249店舗（前期末233店舗、前年同期末225店舗）となりました。

食材供給部門におきましては、当初の計画に基づき年10回にわたる旬の食材をより美味しくより安く提供できる各種テーマを持たせた期間限定の旬メニューの実施、またお客様を飽きさせないためのグランドメニュー（業態、地域ごとの共通メニュー）の改訂を継続的に行っております。これらにより第3四半期累計期間の売上は3,657百万円（前年同期間は3,383百万円）となりました。

また、食材の調達につきましては、食材の仕入価格交渉を継続的に実施することに加えて、東京都の築地市場水産物部売買参加権を取得し、安全、安心で新鮮な食材を全店舗で欠品がおきないように必要量を市場から直接確保できる体制の強化に努めてまいりました。

(3) FC部門

FC部門におきましては、上記(2) 食材供給部門で記載した通りFC店舗数が増加したことによるロイヤリティー収入の増加や、建売による加盟店からの収入等により、第3四半期累計期間の販売実績は、2,075百万円(前年同期間は1,824百万円)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間におきましては、売上高28,803百万円(前年同期間は28,153百万円)、営業利益2,072百万円(前年同期間は2,396百万円)、経常利益2,181百万円(前年同期間は2,429百万円)、純利益1,182百万円(前年同期間は1,313百万円)となりました。なお、対前年同期間の数値につきましては、適用される会計基準が異なるため、参考事項として記載しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は、19,605百万円となり前事業年度末と比較し、3,132百万円減少いたしました。主な内訳は、店舗の出店に伴う差入保証金の増加が517百万円あった一方で、買掛金及び未払金の減少、税金の支払い等により、現金及び預金が3,684百万円減少したこと等によります。

当第3四半期会計期間末の負債は、8,824百万円となり前事業年度末と比較して4,124百万円減少いたしました。主な内訳は、買掛金の減少が1,836百万円、未払金の減少が1,216百万円あったこと等によります。

当第3四半期会計期間末の純資産は、10,781百万円となり前事業年度末と比較して991百万円増加いたしました。主な内訳は、当第3四半期累計期間の営業成績により利益剰余金が1,182百万円増加した一方で配当金191百万円の支払によります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は、前事業年度末より3,284百万円減少し当第3四半期会計期間末は2,542百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の営業活動の結果減少した資金は、311百万円(前年同期間は694百万円の増加)となりました。主な内訳は、税引前四半期純利益が2,086百万円、減価償却費が1,456百万円あった一方で、仕入債務の減少が1,836百万円、未払金の減少が864百万円、法人税等の支払が1,485百万円あったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の投資活動の結果減少した資金は、1,745百万円(前年同期間は2,095百万円の減少)となりました。主な内訳は、固定資産の取得による支出が1,532百万円、新規出店に伴う差入敷金保証金の支出が791百万円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の財務活動の結果減少した資金は、1,227百万円(前年同期間は1,198百万円の減少)となりました。主な内訳は、割賦債務の返済で1,159百万円の支出があったこと等によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済の見通しにつきましては、一部で輸出や生産の持ち直しが見られるものの、個人消費や設備投資の基調は引き続き弱含みであり、景気低迷からの脱却をまだ見通せない厳しい環境が今後続くことと予想されます。このような環境のもと、当社の既存店売上前年比も当初の計画を下回る推移が続き、売上高並びに損益面で当初の予想を下回る見通しとなりました。これらにより、通期業績予想を下記の通り修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	40,500	3,550	3,550	1,870	205.49
今回発表予想 (B)	39,500	2,950	3,000	1,566	172.08
増減額 (B - A)	△1,000	△600	△550	△304	△33.41
増減率 (%)	△2.5%	△16.9%	△15.5%	△16.3%	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年12月期)	38,698	3,365	3,402	1,809	198.86

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計方法

該当事項はありません。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、最終仕入原価法によっていましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、最終仕入原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これによる営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,892,210	6,576,639
受取手形及び売掛金	224,724	285,047
F C債権	438,274	401,245
商品	194,490	247,425
貯蔵品	23,536	31,361
その他	995,217	1,065,605
貸倒引当金	△41,797	△44,533
流動資産合計	4,726,656	8,562,792
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,480,074	7,347,584
その他(純額)	871,459	877,130
有形固定資産合計	8,351,533	8,224,714
無形固定資産		
	166,957	175,147
投資その他の資産		
差入保証金	5,766,399	5,249,197
その他	614,107	549,238
貸倒引当金	△20,325	△22,992
投資その他の資産合計	6,360,181	5,775,443
固定資産合計	14,878,672	14,175,305
資産合計	19,605,329	22,738,097
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,354,991	3,191,359
F C債務	385,349	661,862
短期借入金	100,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	62,504	12,500
未払金	988,487	2,205,393
設備関係未払金	1,293,944	1,394,205
未払法人税等	291,711	798,755
賞与引当金	194,475	63,221
役員賞与引当金	10,000	16,900
その他	481,956	620,305
流動負債合計	5,163,420	9,114,502
固定負債		
長期借入金	143,744	28,125
退職給付引当金	51,216	40,114
長期設備関係未払金	1,927,582	2,310,470
長期預り保証金	1,445,354	1,346,442
その他	92,842	108,555
固定負債合計	3,660,739	3,833,708
負債合計	8,824,160	12,948,210

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,764,886	1,764,886
資本剰余金	2,079,834	2,079,834
利益剰余金	6,935,739	5,944,487
株主資本合計	10,780,459	9,789,207
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	709	679
評価・換算差額等合計	709	679
純資産合計	10,781,168	9,789,886
負債純資産合計	19,605,329	22,738,097

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)
売上高	28,803,317
売上原価	10,214,743
売上総利益	18,588,574
販売費及び一般管理費	16,516,163
営業利益	2,072,410
営業外収益	
受取利息	25,244
受取配当金	125
受取手数料	70,845
その他	105,874
営業外収益合計	202,089
営業外費用	
支払利息	65,306
F C解約費用	14,285
その他	13,207
営業外費用合計	92,799
経常利益	2,181,700
特別利益	
受取補償金	92,945
その他	2,337
特別利益合計	95,282
特別損失	
固定資産売却損	31,359
固定資産除却損	55,030
減損損失	61,914
リース解約損	30,748
その他	11,810
特別損失合計	190,863
税引前四半期純利益	2,086,120
法人税、住民税及び事業税	962,834
法人税等調整額	△59,066
法人税等合計	903,767
四半期純利益	1,182,352

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	9,661,347
売上原価	3,455,443
売上総利益	6,205,903
販売費及び一般管理費	5,719,831
営業利益	486,072
営業外収益	
受取利息	8,532
受取手数料	26,732
協賛金収入	27,143
その他	50,016
営業外収益合計	112,425
営業外費用	
支払利息	20,898
その他	3,702
営業外費用合計	24,600
経常利益	573,897
特別利益	
その他	5,000
特別利益合計	5,000
特別損失	
固定資産売却損	3,853
固定資産除却損	20,832
減損損失	29,163
特別損失合計	53,849
税引前四半期純利益	525,048
法人税、住民税及び事業税	238,845
法人税等調整額	△7,353
法人税等合計	231,492
四半期純利益	293,555

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	2,086,120
減価償却費	1,456,364
減損損失	61,914
長期前払費用償却額	110,521
賞与引当金の増減額 (△は減少)	131,254
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,900
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	11,101
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,403
受取利息及び受取配当金	△25,369
支払利息	65,306
固定資産除却損	55,030
固定資産売却損益 (△は益)	31,359
受取補償金	△92,945
リース解約損	30,748
売上債権の増減額 (△は増加)	60,323
たな卸資産の増減額 (△は増加)	60,760
F C債権の増減額 (△は増加)	△37,029
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,836,368
F C債務の増減額 (△は減少)	△276,512
未払金の増減額 (△は減少)	△864,133
その他	134,453
小計	1,150,597
利息及び配当金の受取額	26,393
収用補償金の受取額	92,945
利息の支払額	△65,149
法人税等の支払額	△1,485,912
リース解約金の支払額	△30,748
営業活動によるキャッシュ・フロー	△311,874
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,435,500
定期預金の払戻による収入	1,835,500
固定資産の取得による支出	△1,532,317
固定資産の売却による収入	21,885
固定資産の除却による支出	△5,450
差入保証金の差入による支出	△791,900
差入保証金の回収による収入	180,705
その他	△17,980
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,745,057

(単位:千円)

		当第3四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入		100,000
短期借入金の返済による支出		△150,000
長期借入れによる収入		200,000
長期借入金の返済による支出		△34,377
配当金の支払額		△183,140
割賦債務の返済による支出		△1,159,978
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,227,496
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△3,284,428
現金及び現金同等物の期首残高		5,826,639
現金及び現金同等物の四半期末残高		2,542,210

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) 第3四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成20年12月期 第3四半期)
	金 額
I 売上高	28,153
II 売上原価	9,968
売上総利益	18,185
III 販売費及び一般管理費	15,788
営業利益	2,396
IV 営業外収益	107
1 受取利息	20
2 受取手数料	56
3 F C 解約違約金受入益	4
4 その他	26
V 営業外費用	75
1 支払利息	72
2 その他	2
経常利益	2,429
VI 特別利益	77
1 受取補償金	77
VII 特別損失	271
1 固定資産売却損	1
2 固定資産除却損	209
3 減損損失	32
4 その他	28
税引前第3四半期純利益	2,235
税金費用	922
第3四半期純利益	1,313

(2) 第3四半期キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 (平成20年12月期 第3四半期)
	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前第3四半期純利益	2,235
減価償却費	1,337
減損損失	32
長期前払費用償却費	72
貸倒引当金の増減額(減少:△)	4
賞与引当金の増減額(減少:△)	172
役員賞与引当金の増減額(減少:△)	3
退職給付引当金の増減額(減少:△)	12
受取利息及び受取配当金	△20
支払利息	72
固定資産除却損	209
固定資産売却損	1
リース解約損	8
受取補償金	△77
売上債権の増減額(増加:△)	55
たな卸資産の増減額(増加:△)	16
F C債権の増減額(増加:△)	△103
仕入債務の増減額(減少:△)	△1,598
F C債務の増減額(減少:△)	△98
未払金の増減額(減少:△)	△793
その他	507
小 計	2,049
利息及び配当金の受取額	20
利息の支払額	△73
補償金の受取額	77
法人税等の支払額	△1,368
リース解約金の支払額	△10
営業活動によるキャッシュ・フロー	694
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入れによる支出	△429
定期預金の払戻による収入	227
固定資産の取得による支出	△1,572
固定資産の売却による収入	4
固定資産の除却による支出	△2
関係会社への出資による支出	△100
保証金の差入れによる支出	△534
差入保証金の返還による収入	70
その他	242
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,095
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	150
長期借入れによる収入	50
長期借入金返済による支出	△108
配当金の支払額	△143
割賦債務の返済による支出	△1,146
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,198
IV 現金及び現金同等物の増加額(減少:△)	△2,598
V 現金及び現金同等物の期首残高	5,500
VII 現金及び現金同等物の第3四半期末残高	2,902

6. 仕入及び販売の状況

(1) 仕入実績

部門別の名称	当第3四半期会計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)
	金額(千円)
直営店部門	6,923,172
食材供給部門	2,841,070
F C 部門	468,588
合計	10,232,831

- (注) 1 金額は、仕入価格によっております。
 2 F C 部門につきましては、原価相当額を記載しております。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

部門別の名称	当第3四半期会計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)
	金額(千円)
直営店部門	23,070,616
食材供給部門	3,657,136
F C 部門	2,075,564
合計	28,803,317

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。